

第 81 回 フォーラム 21 例会 報告

■日時：2020年2月20日（木）18：00～19：00

■会場：鹿島建設中部支店 3F 会議室

■講演：「SPIDERPLUS と CAD, 測定器連携による検査業務の省力化と BIM 活用のこれから」

■講師：田島 徹 氏（株式会社レゴリス ICT 事業部 西日本営業部）

■内容

1. 株式会社レゴリスの紹介,

- ・ 本社は東京にあり、創業当初から保温、断熱工事に携わってきた。
- ・ 社長が、建設業界の IT 化の遅れに疑問を持ったのが、スパイダープラス誕生のきっかけ。さらに、社内で図面を簡単に管理するため、スパイダープラスの開発にとりかかった。

2. スパイダープラスの紹介

- ・ 紙の図面をファイリングする必要がないため、持ち運びの簡素化が可能。
- ・ タブレット（iPad）で写真を撮ることができ、デジカメの持ち運びが不要。
- ・ 図面をクラウドサーバーに保存でき、複数人で共有可能。
- ・ 各種計測データから自動的に Excel 形式などの帳票作成可能。現場から事務所に戻った後の作業の効率化に寄与。
- ・ 図面上にアイコンを設置し、そこに撮影した写真と任意のコメントを集約可能。
- ・ オプション機能には、建築、空調衛生、電気設備の 3 種類のパックがある。例えば、電気設備パックにはコンセント試験機能や照度測定機能などがあり、iPad と計測器が Bluetooth で接続され、計測値を図面上に自動入力できる。
- ・ コンセント試験では、従来は計測位置をあらかじめ人手によって設定する必要があったが、CAD からの位置情報をインポートし、自動的にスパイダープラスに取り込めるようになった。（株式会社きんでんとの共同開発機能）
- ・ BIM との連携も進めており、現在は Tfas や Rebro との連携が可能。

3. 質疑応答・意見交換など

Q：ID とパスワードがあればどのパソコンでもログインできてしまい、セキュリティが心配。

A：IP アドレスによる制限も可能。

Q：タブレット上で 3D 図面を見ることは可能か。

A：現状は不可能。コメント欄に天井高などを記入して対応していただいている。

Q：セキュリティ上クラウドサーバーの活用が困難な場合にはどうするか。

A：クラウドサーバーにセキュリティポリシーを設け、アプリ側にも ID 認証を設けている。

Q：アプリ内での 3D 図面活用へのハードルは高いのか。

A：3D 図面の場合、データ量が膨大になるためクラウドサーバーでは限界がある。

Q：各種 OS の中で iOS を採用した理由は。

A：セキュリティが最も強固なものが iOS と判断したため。

報告者 小林 浩（株式会社トーエネック）